

毛利文香さん応援レポート

みなとみらいクラシック・マチネ

「毛利文香 ヴァイオリン」

2016年7月11日(月)

横浜みなとみらいホール

1日2部形式。各回ごとのこだわりのプログラム

「みなとみらいクラシック・マチネ」。
今年度より新たに開始された横浜みなとみらいホールの新しいコンサートシリーズである。平日お昼間に開催される。

国内外の第一線で活躍するソリスト達が登場。1日2部形式、各回別プログラムという特徴ある設定。それを活用し、アーティスト各々が、こだわりのプログラムを構成する。1日通して聴けば、アーティストの想いや音楽の魅力にさらに深く触れることができるという粋な企画だ。本日はシリーズ2回目。毛利さんにとっては、地元横浜での演奏会となる。

会場はみなとみらい小ホール(440席)。室内楽や、ピアノ・声楽などのリサイタル、ことに弦楽器など繊細な音色の楽器には最高の音響と定評あるホールである。窓の外には青い海。みなとみらいのシンボルマークの建物も目に入る。

YOKOHAMA MINATO MIRAI HALL
みなとみらいクラシック・マチネ
～ 暮らしも音楽もヨコハマを愛して～
毛利文香
ヴァイオリン
横浜が生んだ若き新星
ヴァイオリン・ソナタの豊かな
感性を描き分ける
日下知奈(ピアノ)
2016年7月11日(月)
横浜みなとみらいホール 小ホール
12:10開演(11:30開場)
第1部 モーツァルト:ヴァイオリンソナタ 第28番 ホ短調 K.304
ベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ 第9番 イ長調 Op.47
「クワイエム」
14:30開演(13:50開場)
第2部 ブラーム:ヴァイオリンソナタ
フランク:ヴァイオリンソナタ イ長調
全席指定
1日券 1,800円 第1部/第2部 各1,000円
ランチボックス 500円(ドリンク付、お茶、デザート付)
お問い合わせ: 横浜みなとみらいホール チケットセンター 045-682-2000
チケット販売: 小ホール 0570-02-9999
〒220-8588 横浜みなとみらい1-1-1 (公益財団法人 横浜新都市文化振興財団) 小ホール



本日のチケットは第1部、第2部ともに完売。1部・2部の通し券である「1日券」で聴く方々も、強い日差しの猛暑日にもかかわらず、多くのお客様が詰めかけている。横浜出身の毛利さん。昨年9月からはドイツ・クロンベルクアカデミーに留学中。本日は研鑽の成果を地元で披露してくれる機会でもある。

前日に開催された財団総会では、新奨学生(=第45回生)として参加し、同じく新奨学生の小林海都さん(ピアノ)、水野優也さん(チェロ)とともに、若さはじけるベートーヴェン「幽霊」第一楽章を披露してくれた。

4つのヴァイオリン・ソナタ。各々の世界を弾き分ける



本日のプログラムには、第1部ではモーツァルトとベートーヴェン、第2部ではプーランク、フランクと、ヴァイオリン・ソナタが4曲並ぶ。

通して聴けば、4人の作曲家のヴァイオリン・ソナタを味わうことができるという贅沢な構成。

第1部が始まる。

毛利さんとピアノの日下知奈氏が登場。毛利さんは横浜の海を思わせるようなブルーのドレス。お似合いた。

1曲目はモーツァルトのヴァイオリン・ソナタ第28番。モーツァルトが書いたヴァイオリンソナタの中で唯一の短調の曲。哀調を帯びた旋律。ピアノとの追いかかけ合うユニゾンが美しい。

2曲目、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ第9番。「クロイツェル」として知られる曲だ。ダイナミックに繊細に、強弱のメリハリも美しく、鳴り響く音色。「かっこいい！」ほどの演奏に聴き惚れる。

ブラヴォーの大声援があちらこちらから。

第2部。毛利さん、今度は淡いペパーミントグリーン色のドレス姿で登場。ウッド調の舞台によく映える。

2部1曲目のプーランクが始まる。「切り替わりがはっきりしていて、そういう面が魅力でもあり難しくもある曲」だと毛利さん。

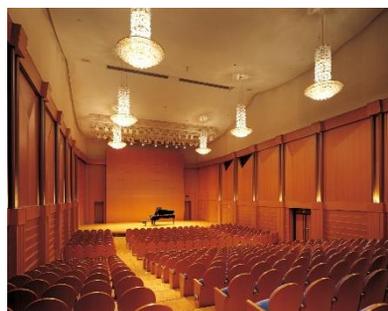
情感たっぷり。音がとても良く鳴っている。「銃声のイメージ」というラストの音も劇的に。

最後の曲はフランクのソナタ。「1人の人の人生を振り返り、場面場面が描かれているようなイメージの曲です」とのこと。のびやかに大胆に、優美に繊細に、客席を魅了して締めてくれた。

4つのソナタの世界を堂々と弾き分けて終演。ピアノとの調和も美しく。ブラヴォーの声と大きな拍手。

迫力満点である一方、柔らかさやしなやかさを感じさせる魅力的な演奏であった。

終演後のホワイエ。「モーツァルトやベートーヴェン、作曲家達から、『音楽の天使』にお手紙が届いたようだったわ～」と白髪の上品なご婦人。聴衆のみなさんも、午後のひとときを堪能されたもよう。小ホール豊かな響きにも心惹かれた。



写真ご提供：横浜みなとみらいホール(当ページの写真全て)

出したい「音」のイメージをはっきりと持ちながら



プロデューサー西巻正史氏、
ピアノの日下知奈氏と

終演後の毛利さんに話を聞いた；
— 聴きごたえあるプログラムでした；
「…難しいことに挑戦するプログラムでしたが、今年はソナタのレパートリーを増やしたいので思い切って組んでみました。なかなかこんなプログラムで弾かせていただけることはないですし」。

— 留学後、変化しているところなど；
「…留学後に先生に指摘され直しているのは、右手の弓の持ち方や左手の指の押さえ方です。右手の親指の当て方や、左指のタッチの強さなど、細かいことですが、それが大きな違いを生みます。意識の問題の部分が大きいのですが、意識して気を付けるということは単純ながら、とても大事なことだと思います。」。

「……大きく変わった点としては、自分の出したい音のイメージを、よりはっきり持つようになりました。それに伴って自分の音をもっと注意深く聴くようになってきています。それが『こういう音を出したいから弾き方をこう変えてみよう』と、右手や左手の使い方に繋がってきています」

— どんな音を？；
「…曲や曲の箇所にもよるのですが、『最初から充実した音にしたい』『ここは歌いたい』とか、『弱い音でも内なるエネルギーを込めて』とか、いろいろ音をイメージしています」

— 本日の音のイメージは？；
「…4曲それぞれの違いを出したいと思って準備しました。それぞれの色を聴いていただきたかったのです。そういうことを、強く意識しながら弾きました」。

<演奏会概要>

◆出演

毛利 文香(ヴァイオリン)
日下 知奈(ピアノ)

◆プログラム：

第1部

モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ 第28番
ホ短調 K.304
ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第9番
イ長調 Op.47「クロイツェル」

第2部

プーランク：ヴァイオリン・ソナタ
フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調



次の演奏会は苦小牧。月末には東京文化会館にて、山根一仁さん(ヴァイオリン)、上野通明さん(チェロ)とともに、高校時代に結成した「エール弦楽四重奏団」での室内楽。忙しい日々が続く。

毛利さん、
素敵な演奏でした。
また
聴かせてください！



【コンサート・フライヤー(表)】

YOKOHAMA MINATO MIRAI HALL

みなとみらい
クラシック・マチネ
～名手と楽しむ横浜の午後～

毛利文香

ヴァイオリン

横浜が生んだ若き新星
ヴァイオリン・ソナタの豊かな
鉦脈を描き分ける



日下知奈(ピアノ)

2016年 **7月11日(月)**
横浜みなとみらいホール **小ホール**

一般発売 **3月3日(木)**

全席指定
1日券 **1,800円** 第1部/第2部 各**1,000円**

ランパボックス券 **500円**(ヤマトウィッチ、横浜菓子、飲み物/限定150席)

※横浜みなとみらいホールは、2016年7月11日(月)のみの開催です。チケットの予約状況、公演内容、お問い合わせは、本公演のホームページをご覧ください。

※チケットの予約状況、公演内容、お問い合わせは、本公演のホームページをご覧ください。

第1部 12:10開演(11:30開場)
モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ 第28番 ホ短調 K.304
ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 Op.47
「クロイツェル」

第2部 14:30開演(13:50開場)
ブラーム:ヴァイオリン・ソナタ
ブラーム:ヴァイオリン・ソナタ イ長調

※本公演のチケットは、入場まで10分前。
●公演当日、当日券は当日の開催が前提です。チケットは事前購入し、当日は会場へお越しください。当日の公演内容は、本公演のホームページをご覧ください。
●チケットの予約状況、公演内容、お問い合わせは、本公演のホームページをご覧ください。
●チケットの予約状況、公演内容、お問い合わせは、本公演のホームページをご覧ください。
●チケットの予約状況、公演内容、お問い合わせは、本公演のホームページをご覧ください。
●チケットの予約状況、公演内容、お問い合わせは、本公演のホームページをご覧ください。

◆主催 横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜有楽町文化振興財団)
プロデューサー 西條圭史(横浜みなとみらいホール 企画・運営アドバイザー)

チケット
お問い合わせ
横浜みなとみらいホール チケットセンター **045-682-2000**
電話予約 12:00～18:00 / 窓口 10:00～18:00 (休館日・休日の場合はお問い合わせ)
チケットセンターWEB <http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php>
チケットぴあ **0570-02-9999** (前売券のみ販売中)

【コンサート・フライヤー(裏)】

横浜出身、昨年バガニーニ国際コンクール2位と国際的に大きな注目を集めた期待の新星、毛利文香が一時帰国し、待望のリサイタルをみなとみらいホールで開催する。丹念にテクニックに磨きをかけ、端正な音楽づくりをモットーにここまで盛り上げてきた毛利が、地元での今回のリサイタルでは、極めて難易度の高い重量級のプログラムで、これまでの研鑽の成果をお披露目に留まらず、さらなる飛躍を試みる。

【第1部】はドイツ・オーストリア圏のプログラム。軽度に取り詰め凝縮された奏を歌うモーツァルト唯一の短調のソナタK304。ヴァイオリンの艶美を伴うピアノのためのソナタとして出発したいものの「ヴァイオリン・ソナタ」が、モーツァルト、ベートーヴェンの手を経て大きく変貌し、コンチェルトのように対等にわたる合うスタイルを確立し、その最高峰に君臨するベートーヴェンの気宇壮大な急変作「タロイフェル」。個性際立つ2曲を対比させながら、昨年からドイツで生活をし、言語、空気を肌身に感じはじめた毛利の「いま」をみなとみらいのホールに刻むことだろう。

【第2部】はフランス・ベルギー圏のプログラム。愛された友人ロルカの追悼のために書かれたブーランケは、新り込むような哀さと情り、夢のような夢い高さ、哀しみが交錯する。幻想的な冒険から喜びにあふれるフィナーレまで、独特の魅力を持つブーランケは、日本中で順順に演奏されながら、「これ!!」という満足感を得られる演奏になかなか出会えない屈指の難曲。いつのこのまに異なる世界を描き分けることは容易ではない。しかし、そこに真摯にひるまず熱心彼女のまなごの先にこそ、明るい未来が開けてくる。経験豊富な日下知奈との初共演は、曲と新鮮に対峙する上でも大きなアドバンテージとなるに違いない。そういう日下のブーランケも極めてめずらしい。こちらも楽しみだ。

初共演のみたりの異なる感性をよっつけ合い、盛りだす一期一会の時間。その扉が開かれる瞬間に…、「さあ、みなさま、お立会い!」 西巻 正史

毛利文香

(ヴァイオリン)
Fumika MOHRRE

1994年、神奈川県出身。2012年、第8回ソウル国際音楽コンクールにて、日本人として初めて、最年少で優勝。2015年、第54回バガニーニ国際ヴァイオリンコンクールにて第2位、エリザベート王妃国際音楽コンクール2015にて第6位入賞、10編市アゼリア舞臺、横浜文化芸術文化・芸術奨励賞、青山音楽賞新人賞受賞。これまでに、田代かおり、水野佳知香、原田幸一郎の各氏に師事。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマコース、及び茂老学園音楽大学アンサンブルアカデミー修了。現在、慶應義塾大学文学部3年在学中。2015年9月より、ドイツ・クロンベルクアカデミーに留学し、シハエタ・マーティン氏に師事している。第45回江崎記念財団奨学生。

日下知奈

(ピアノ)
Chika KUSAKA

東京藝術大学大学院修了。京都芸術祭毎日音楽賞受賞。第14回岡田高弘賞ピアノコンクール第3位、併せてメシアン賞受賞。ケルン音楽大学に音学し、ハーヴェル・ギョウゴ氏に師事。ケルン・シュンペルコンクールなど数々のコンクールで入賞。ケルン音楽をピアノ・室内楽ともに首席で卒業。第3回東京音楽コンクール第3位。2007年パロウツァ賞受賞。2009年新津音楽祭優秀賞。神戸室内合奏団と共演。2014年に東京オペラシティ小ホールにてリサイタルを開催し、音楽誌上にて絶賛される。2015年秋より「ベートーヴェン・フォーラム」上巻した室内楽シリーズを開催中。現在東京藝術大学音楽科伴奏助手、国立音楽大学付属高等学校・中学校講師。

1日まるごと
「みなとみらい」を堪能

第一部の演奏から第二部の演奏までの新曲や、第二部のコンサート後にも「みなとみらい」を楽しむスポットがたくさん!

「みなとみらい」おすすめスポット Vol.2

～選べるランチとパブリックアート～

12:10～13:00
第1部コンサート

13:00～14:30
「みなとみらい」を堪能!

14:30～15:20
第2部コンサート

15:20～
コンサート後も「みなとみらい」を堪能!

ホールから徒歩5分圏内!

ホール隣接のクイーンズスクエア横浜をはじめ、周辺の横浜ランドマークタワー、マークイズみなとみらいには、手軽なファストフードやカフェ、そしてホテルのレストランなど様々なお店が揃っています。公演当日にも詳しくご紹介いたしますのでお楽しみに。また、クイーンズスクエア横浜にはパブリックアートが9点も!ランチの後にアート鑑賞をするのもオススメです。いずれの施設もホールから最外に出ることなく行けるので、暑い7月にお過ごしいただくのにぴったりです。

「みなとみらい」から徒歩5分

横浜美術館

「みなとみらいクラシック・マチネ」当日プログラムを横浜美術館でご提示いただくと、公演日当日に限り企画展当日料金を100円割引にてご鑑賞いただけます!
(7/11前日 10:00～18:00(入場は17:30まで))

「みなとみらい」から徒歩5分

おすすめレストラン

クイーンズスクエア横浜 [アット] 1st 2Fの「ル サロンド ニオス」はオリジナルの紅茶が人気のお店。みなとみらいの大観覧車が一望でき、ランチは勿論、演奏後にのんびりお茶を楽しむのにも最適です。お店は予約可能なので、ゆっくりとお食事を楽しみたい方におすすめです。

公演期間
7/25(土)～9/11(日)
メアリー・カサット展

今後の公演予定

9月16日(金) 大ホール
アンナ・ヴィニツカヤ(ピアノ)

18時開演 シューマン: 子午の情景 Op.15 / プラムス: 3短曲集 Op.116
19時開演 シューマン: 24の夜曲集 Op.29

一般発売
4月6日(水)



10月19日(水) 林正子(ソプラノ)
石野真穂(ピアノ)

2007年
1月20日(金) 福川伸陽(ホルン)
大ホール 鈴木麗人(ヴァイオリン)

3月8日(水) 金子三勇士(ピアノ)

特別公演
12月14日(水)14時開演
大ホール
前橋訂子(ヴァイオリン)
松本和博(ピアノ)
定額販売3,000円

Miraist Clubのご案内

Miraist Club(みらいすクラブ)は、みなとみらいホール主催の芸術文化イベントの割引、先行発売のサービスは、魅力ある特典をお楽しみいただけます。

Miraist Club事務局
045-882-2025(10:00～18:00)

交通のご案内

- みなとみらい駅(東急東横線)徒歩5分(みなとみらい)下車、徒歩3分、「クイーンズスクエア横浜」徒歩1分、徒歩3分、徒歩12分。
- みなとみらい駅(東急東横線)徒歩5分(みなとみらい)下車、徒歩3分、徒歩12分。



横浜みなとみらいホール 〒220-0012 横浜市中区みなとみらい2-3-6 TEL: 045-882-2020 FAX: 045-882-2023
11 横浜地区人権啓発活動推進委員会 URL: <http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php> @yokohamammh

【コンサート・プログラム 表紙】

YOKOHAMA
MINATO MIRAI HALL

みなとみらい
クラシック・マチネ

Fumika
Mouri

毛利文香 ヴァイオリン

2016年7月11日(月)

【第1部】 12:10開演

【第2部】 14:30開演

横浜みなとみらいホール
小ホール

主催：横浜みなとみらいホール（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

プロデューサー：西巻正史

【コンサート・プログラム P.1】

第1部 12:10開演

モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ 第28番 ホ短調 K.304

W.A.Mozart : Sonata for Piano and Violin No. 28 in E minor, K. 304

- I Allegro
- II Tempo di Menuetto

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ

第9番 イ長調 Op.47「クロイツェル」

L.V.Beethoven : Sonata for Piano and Violin No.9 in A major, Op.47, "Kreutzer"

- I Adagio sostenuto - Presto
- II Andante con Variazioni
- III Presto

第2部 14:30開演

プーランク：ヴァイオリン・ソナタ

F.Poulenc : Sonata for Piano and Violin

- I Allegro con fuoco
- II Intermezzo: Très lent et calme
- III Presto tragico

フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調

C.Franck : Sonata for Piano and Violin in A major

- I Allegretto ben moderato
- II Allegro
- III Recitativo - Fantasia: Ben moderato - Molto lento
- IV Allegretto poco mosso

毛利文香(ヴァイオリン) Fumika MOHRI, Violin

1994年、神奈川県出身。2012年、第4回ソウル国際音楽コンクールにて、日本人として初めて、最年少で優勝。2015年、第54回バガニーニ国際ヴァイオリンコンクールにて第3位、エリザベト王妃国際音楽コンクール2015にて第4位入賞、川崎市アゼリア舞賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞、青山音楽賞新人賞受賞。これまでに、田代かをり、水野比呂香、原田幸一郎の各氏に師事。桐朋学園大学音楽学部ソリストディプロマコース、及び洗足学園音楽大学アンサンブルアカデミー修了。現在、慶應義塾大学文学部3年在学中。2015年4月より、ドイツ・ケロンベルクアカデミーに留学し、ミハエラ・マーティン氏に師事している。第45回江田記念財団奨学生。

日下知奈(ピアノ) Chika KUSAKA, Piano

東京藝術大学大学院修了。京都府新築毎日新聞社賞受賞。第14回岡田高弘賞ピアノコンクール第3位、併せてアジアン賞受賞。ケルン音楽大学に留学し、パーヴェル・キプロフ氏に師事。ケルンシヨパンコンクールなど数々のコンクールで入賞。ケルン音大をピアノ・室内楽ともに首席で卒業。第3回東京音楽コンクール第3位。2007年パロクゼール賞受賞。2008年梨津音楽祭伴奏賞。神戸室内音楽団と共演。2014年には東京オペラシティアカデミーにてリサイタルを開催し、音楽誌上にて絶賛される。2015年秋より「ベートーヴェン」を止めた室内楽シリーズを創始中。現在東京藝術大学弦楽科伴奏助手、国立音楽大学付属高等学校・中学校講師。

【コンサート・プログラム P.2】

昨年バガニーニ国際コンクール2位と国際的に大きな注目を集めた期待の新星、毛利文香は嶄新出身。今回は背望の地元でのリサイタルということもあってか、モーツァルト、ベートーヴェン、プーランク、フランクという、4つのヴァイオリン・ソナタを1日で弾き分けるという極めて意欲的、かつ難易度の高いプログラムが提案された。百戦錬磨の巨匠でも、ここまでまったく異なる4つの大きな世界を並べ置き分けることは体力的にも音楽的にも容易ではない。毛利文香の意欲と想いの強さは大変頼もしく、心惹かれる。さらにこれは、前半と後半の間に90分の休憩を挟む本シリーズの試みを最大限に活用した知能的なプログラムとも言えよう。本シリーズの企画者としては、意を凝らしていただき嬉しいかぎりだ。本日は、毛利の圧倒的に高い難度を誇るテクニクを堪能させてもらうだけではなく、さらにそれを「武器」に変え、個々の作品の本質に斬り込んでいく様を期待したい。

その意味では、経験豊富な日下知奈との初共演は、作品と新鮮な気持ちで対話する上で大きなアドバンテージとなってくれることだろう。一期一会のライブな瞬間の幕がいま開かれる。

西巻正史

Program Note

寺西基之(音楽評論家)

【第1部】

モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ 第28番 ホ短調 K.304

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-91)は長閑にわたるマンハイムとパリへの旅行中の1778年に数曲のヴァイオリンとピアノのための二重奏ソナタを書いた。当時このジャンルは一般に“ヴァイオリンの伴奏付きのピアノ・ソナタ”と考えられており、主役はあくまでピアノで、ヴァイオリンは伴奏とみなされていたのだが、この時期に書かれたモーツァルトのソナタでは、両者が対等に渡り合う書法が明確になってきている。このホ短調の曲もそのひとつ。短調の暗い情感到満ちたソナタで、パリで完成されているところから、作品のそうした性格を、この旅行に同行していた母が同地で客死したことに結び付けて考えられることが多い。しかし作曲が始められたのはそれより以前のマンハイム滞在中のことである。

曲は2楽章構成。第1楽章(アレグロ)は印象深いユニゾンの悲しげな第1主題で始まる緊密なソナタ形式楽章。ロンド風の形式による第2楽章(テンポ・ディ・メヌエット)も憂鬱に満ちた暗さが全体を支配し、長調によるエピソードも一時の慰めでしかない。

ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 Op.47「クローツェル」

ヴァイオリンとピアノを対等に扱う二重奏ソナタを追求したモーツァルトの方向をさらに徹底させたのがルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)だった。彼のそうした姿勢は1803年のソナタ第9番で頂点を極めることになる。この作品は、作曲家自身“協奏曲のごとく協奏的な様式による”と記していることにも窺えるように、従来のヴァイオリン・ソナタには見られなかったような2つの楽器が激しく駆け引きする二重奏の書法が追求されている。さらにそれはこの時期から始まるベートーヴェン中期特有の劇的な様式と結び付けられ、ヴァイオリン・ソナタ史上空前ともいえるダイナミックな傑作となっている。作品は当時の名ヴァイオリン奏者ブリッジタワーのために書かれ、初演当日に完成されてブリッジタワーとベートーヴェンによって演奏されたが、2人はその後仲違いし、結局作品はフランスのヴァイオリン奏者クローツェルに献呈された。

ヴァイオリンの重音で始まる大胆な序奏を持つ第1楽章(アダージョ・ソステヌート・プレスト)は、2つの楽器が火花を散らしつつ劇的に対峙する。第2楽章(アンダンテ・コン・ヴァリアフィオーニ)は優美な主題による変奏形式の緩徐楽章。第3楽章(プレスト)は元々ヴァイオリン・ソナタ第8番の終楽章として構想されて結局お蔵入りとなった曲を流用した楽章だが、その躍動的な輝かしさはまさにこの作品の終曲に相応しい。

【コンサート・プログラム P.3】

【第2部】

ブーランク：ヴァイオリン・ソナタ

第1次大戦後にフランスで結成された若手作曲家グループ“6人組”の一人として活躍したフランシス・ブーランク(1839-1963)は、19世紀のロマン主義やドビュッシーらの印象主義を否定したこのグループの精神を最も端的に示した作曲家で、古典的形式感とフランスのエスプリをモダンな感覚でもって融合した作風を追求した。このヴァイオリン・ソナタは名ヴァイオリン奏者スグーのために第2次大戦中の1942-43年に作曲されたもの(1949年改訂)。軽妙な作風で知られるブーランクだが、この曲は彼の作品の中ではとりわけシリアスな性格を示す。それはこの曲が、ファシストに殺されたスペインの大劇作家・詩人のガルシア＝ロルカの追憶として書かれ(「F.G.ロルカの追憶に」という副題を持つ)、レジスタンス運動を行っていた当時のブーランクの反ファシズム精神が表現されているからである。古典的構成の中に痛切なメッセージを込めたソナタである。

第1楽章(アレグロ・コン・フォーコ)は自由なソナタ形式による劇的な変化に満ちた楽章。第2楽章(間奏曲、非常に遅く、静かに)には「ギターが夢を涙に誘う」というロルカの1節が掲げられている。第3楽章(プレスト・トラジコー)は急迫した展開を示すが、最後は詩人の死を悼むような音楽となって、心に突き刺さる二短調の和音で閉じられる。

フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調

セザール・フランク(1822-90)はベルギー生まれだが、フランスで活動し、19世紀後半のフランス音楽の発展に大きく寄与した。当時フランスでは全曲に共通する主題を用いて全体の統一を図る循環手法が発達したが、フランクはとりわけこの手法を論理的に用いている。1856年作のヴァイオリン・ソナタも、4つの楽章を循環手法で関連付けつつ、内面の叙情と激しい情熱の交錯のうちに幻想的な音楽を展開した数少ない傑作だ。同じベルギー出身の大ヴァイオリニストのイザイのために書かれ、イザイの結婚を祝して彼に献呈された。

第1楽章(アレグレット・ベン・モダート)は穏やかな運びの中に深い叙情を込めた楽章で、ヴァイオリンに出る第1主題は全曲の最も重要な循環主題となる。ピアノで奏される第2主題の中の下行音型も全曲にわたって活用される。第2楽章(アレグロ)は情熱的なソナタ形式で、激しい第1主題と優美な第2主題を中心に劇的に運ばれる。第3楽章(レチタティーヴォ・ファンタジア)は内省的な緩徐楽章で、前半は即興的な趣のうちに雄弁な語り口で進み、後半は幻想的な雰囲気の中、理想的な音楽が発展する。第4楽章(アレグレット・ボーコ・モツォ)は優美なロンド主題を中心に多様に展開するフィナーレ。ロンド主題は循環主題に基づいており、2つの副主題部にも第3楽章後半に現れた2つの主題を用いるなど、主要な主題にそれまでの楽章の素材を使用することで全曲を統一的に纏めている。

横浜みなとみらいホールから徒歩5分

横浜美術館

企画展

メアリー・カサット展

印象派を代表する米国人女性画家、メアリー・カサット(1844-1926)の回顧展を35年ぶりに日本で開催。カサットの油絵画やパステル画、版画の代表作に加え、交流のあった画家たちの作品など計約100点を展覧し、初期から晩年にいたる画業の全貌を紹介します。夏にあふれるカサット芸術の真髄をどうぞお楽しみください。

一般 ¥1,600 / 大学・高校生 ¥1,100 / 中学生 ¥600 / 小学生以下無料

観覧中～9/11(日)、木曜休館(8/11は閉館) 10:00～18:00 ※9/2は20:30まで(入館は閉館の30分前まで)

<http://yokohama.art.museum>

このプログラムを横浜美術館でご提示いただくと、

企画展当日料金を100円割引

にてご観覧いただけます！(金額有効)

*対象は、プログラムをご観覧いただいたご本人1名です。